

第2回定例会

第2回定例会

5名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

町長より行政報告がなされました。

町長行政報告

一般質問①

一般質問

町長行政報告

(要旨)

■農作物の生育状況

雪解けも早く、ヒートやデントコーンなどの農作業は順調に進み、強風と低温の日が続きましたが、総じて農作物の生育も良いことから、今後不安定した天候を願うところであります。

牧草の草丈も平年並みに生育し、サイレーシ収穫作業が開始され、順調なスタートが切れたものと確信しています。

■町営牧場の入牧状況

6月9日現在、乳牛370頭、和牛150頭の520頭が放牧されています。
酪農経営の基本である健康で丈夫な牛の育成を図るため、大いに利用していただきたいと思っています。



ほたての積み込み作業で活気づく富武士漁港

■漁業について
外海ほたて稚貝放流は9日間で終了し、7963万粒を予定どおりD海区へ放流し、時化の被害のあったC海区へ追加放流を行ったとの報告を受けています。

ほたて稚貝採苗については、海水温が平年よりやや高く推移し、ラーバの出現が早く見られたことから、採苗器の投入が進み順調に推移しています。
マス稚魚については、町内3河川から合計100万尾を放流しています。
また、サケ稚魚の中間育成については、190万尾を飼

育したのち放流し、10万尾については、佐呂間別川より放流を行いました。
外海ほたて漁業の本年の漁獲目標は5100トンに設定されており、1隻6トン体制で操業が開始されています。

■公共事業の執行状況

主な工事と委託の事業件数については、災害復旧工事を含め46件で、総額で6億8700万円を予定しています。

発注状況については、19件で3億1千万円であり、発注率は、件数では41%、金額では45%となっています。

現在、各町道や公共施設などで改修工事を実施しており、何かとご不便をおかけいたしますが、ご協力の程をよろしく願います。

■後期高齢者医療保険料及び国民健康保険税の算定誤り

後期高齢者医療広域連合の電算処理システムの設定に誤りがあり、世帯主又は本人が青色申告を行っている被保険者の一部の方について、保険

料の軽減判定所得の計算が誤って行われ、納付すべき金額と異なる保険料が賦課されるシステム設計となっております。
誤って賦課した可能性のある被保険者の抽出及び再計算の結果、本町においては2名の方の賦課誤りが判明しました。
同様の仕組みとなっている国民健康保険税の算定についても、同じ誤りが認められ、10名の課税誤りが判明しました。

後期高齢者医療保険料については2名で7万5千円、国民健康保険税については10名で73万5千円を過大に徴収していたものであり、12名の方には担当課より直接お詫びに出向くとともに、過誤納付金に加算金を加え5月31日に還付しております。

システムによる誤りとは言え、過大に徴収した方々には深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に向け努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



本見研介 議員

第4期総合計画の進捗について

【質問】
総合計画は、全ての計画の基本として最上位に位置づけられる計画であり、現在7年目で残り3年です。策定に当たり町長が当初から関わり、マニフェスト(公約)も反映されていると考えていますか。

【答弁】(町長)
総合計画の策定においては、平成20年9月の就任と同時に策定委員会を設け、2年間の委員の諮問、答弁を受けでき上がりました。町の羅針盤となるものです。

【質問】
計画では、今後何の対策もしなければ2020年度には人口が5200人程度、高齢

第4期総合計画

高齢化と「活」の質は

町長：若い世代の働き手不足が課題

雇用の創出を図りたい

化率については38・1%になるとしています。本年4月30日現在で人口は5200人、高齢化率も38・0%と、予測値に近づいています。この7年間の施策について伺います。

【答弁】(町長)
人口の減少と高齢化比率の上昇は否めません。地域に安定した仕事、産業と雇用を創出し、本町の基幹産業である農業、漁業や町内の商店街、建設業の振興について若い世代が安心して仕事につくことができるよう、雇用の創出を図っているところです。

町内で雇用はあるが働き手がいけないという課題については、今後も協議していかなければならないと考えています。

ればならないと考えています。

【質問】
自治会の区域再編の検討、自治会の加入と活動の活性化が必要とされていますが、進捗について伺います。また地域担当員制度の充実はどこまで進んでいますか。

【答弁】(町長)
自治会の区域再編の検討を行うのは各自治会、または自治会連合会となります。自治会連合会は年2回総会を開催し、各自治会との意見交換、情報共有を進め、問題解決に努めています。現時点において区域再編の検討は行っていません。

地域担当員制度についても、地域からの要請により会議や行事等に参加するように考えています。

【質問】
計画では自治会の協力等に

より生活困窮者の把握と支援に努めるとありますが、どこまで把握しているのか伺います。

【答弁】(町長)
現在安定した経済情勢にあるとはいえ、人口減少は進行しています。支援を必要とする生活困窮世帯の増加が予想されることから、地域関係機関と行政が連携を密にして取り組んでいく考えです。

【質問】
特別養護老人ホームについて、民間に経営移譲か業務の一部民営化を検討するところですが、町営で運営する方針に変わりはないか伺います。

【答弁】(町長)
給食業務などは一部民営化していますが、今後も民間での運営ではなく、町立での運営を基本に考えていきます。

【質問】
障がい者支援の進捗について伺います。

【答弁】(町長)
障がい者が自立した生活を営みながら自己実現できるように、平成30年度からの障がい者福祉計画の作成に向け準備を進めているところです。

第2回定例会

・一般質問②



小松正義 議員

浜地域の吸血性害虫

謂ひ、野原の取り組みは

町長：…土砂埋め立てを継続実施
地域と協議し道に要望する

浜地域を中心とした、吸血性害虫 (ブヨ、蚊)について

【質問】
今後の対策の参考にするアンケート調査を行う考えがあるか伺います。

【答弁】(町長)

浜佐呂間自治会と対策の協議を進めています。基本は土砂による埋め立て方式であり、湿地帯全体の50から60%は整地を含め埋め立てができ、今後道施行の河川改修が継続実施されるとの状況から、改めて埋め立て実施に向け要望を行う考えです。

【質問】
地域の方々は長年にわたり

苦痛な生活を強いられています。この状況について研究機関による生息地域、種類等の調査をする考えについて伺います。

【答弁】(町長)

数十年前、生息調査を研究機関でやった文献が今も残っています。しかし、駆除課題として、散布期間や経費、労力、海水への影響が最も懸念されることから、抜本的な対策は取られない状況です。なお昨今、蚊の繁殖を防ぐための研究が進んでいること、注視をして結果を待ちたいと考えています。

【答弁】(町民課長)

繁殖を防ぐ研究も進んでおり、新種の蚊がいるということもありますので、地

域の方と相談しながら今後進めていく考えです。

介護職員不足による 介護を受けられない 状況対策について

【質問】
現在の特別養護老人ホーム愛の園の入園者数、介護職員の状況について伺います。

【答弁】(愛の園園長)

特養の定員は60名、ショートステイの定員は5名です。現在の特養入所者は50名、ショートステイは多少の前後があり、5人の日もあります。介護職員は正職員が3名、嘱託職員が18名の計21名という状況です。

【質問】

今後、介護職員があと何名雇用されれば入園定員が確保されるのか伺います。

【答弁】(町長)
60名の体制を整理するにはあと3名、24名なり25名の職員が必要です。

雇用条件の改善を図り、正職員、嘱託職員も含めた夜間勤務手当の改正、労力軽減として清掃業務委託を進めているところですが、職員の確保には至っていません。

【質問】
介護職員の雇用対策を行政視点で進めるのではなく、町独自方式で、職員への特典を付与するなどの考えはあるのか、また、近郊での介護職員の雇用が不可能な場合に海外研修制度の利用を考えているのか伺います。

【答弁】(町長)

海外研修制度につきましては、町内の施設の状況から海外研修生の指導に当たる人材を確保することは困難と判断しています。町としては、介護職員養成学資貸付事業や介護職員養成事業を広く周知活用し、介護職員の養成と確保に全力を挙げたいと考えています。

「滞在型」観光への取組など 町の観光戦略の「見直し」は

町長：…観光振興への取組は
ハード・ソフト両面で進める



高橋紀久 議員

観光への取組・展望について

【質問】
現在休業中の富士士の宿泊施設が通年での営業再開となり、多人数を受け入れ可能となることから、「通過型」の観光から、宿泊を伴う「滞在型」の観光が可能となり、町の観光戦略の大きな見直しが必要ではないかと考えます。

【答弁】(町長)
これまでサロマ湖など豊かな自然を生かした景観などを観光資源として進めてきました。新たな観光施設の設置には莫大な費用がかかりますので、既存施設の維持に努め、自然の観光に重点を置いていく考えです。

【質問】
広域的取組としてはサロマ湖を共有する1市2町で連携をし、また湧別町・遠軽町・当町でYESプロジェクトとして、地元の特産品を生かしたグルメをPRする準備を進めています。

【答弁】(町長)
すくには滞在型観光への転換は難しいですが、観光振興はハード・ソフト両面で進め、資源・施設をしっかり守りながらより発展させていきたいと考えています。

【質問】
幌岩山のサロマ湖展望台・道路・登山道を整備する考えはあるのか伺います。

【答弁】(経済課長)
新規整備の計画はありませんが、道路は定期的に整備・部分補修をしています。

【質問】
キムアネップ周辺などサロマ湖で遊べる場所を整備する考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長)
海水浴・キャンプ人口が減少し、レジャーのスタイルが変わってきたことから、現状を維持し、宣伝を続け利用を拡大していく考えです。

【質問】
再開する宿泊施設には、食事、物販は物産館みのり、町の外食産業との連携をお願いし、交通の利用も活発にしていきたいと考えています。

【答弁】(町長)
基本的な施設については皆さんの意見を聞きながら対応していきたいと思えます。

町有施設の維持・新設の 計画においての町民意見 見などの導入について

【質問】

既存施設の維持・修繕、また新設時において、有効活用を図れるよう、またより良い機能・性能となるよう、町民や有識者から意見を聞き、それらを効果的に取り入れる考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長)

これまで関係団体や利用者の代表の方などに説明し、設計段階から意見を聞いています。

【質問】

公園などインフラ施設などを対象とする予定はあるのか伺います。

【答弁】(副町長)

保護者らの意見を聞き、時代に合わせた更新をしていきたいと考えています。

【質問】

町の施設の案内表示板が足りないという意見があるが、意見の取り入れをする考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長)

基本的な施設については皆さんの意見を聞きながら対応していきたいと思えます。

第2回定例会

・一般質問③

【質問】
現在休業中の富士士の宿泊施設が通年での営業再開となり、多人数を受け入れ可能となることから、「通過型」の観光から、宿泊を伴う「滞在型」の観光が可能となり、町の観光戦略の大きな見直しが必要ではないかと考えます。

【答弁】(町長)

【質問】
幌岩山のサロマ湖展望台・道路・登山道を整備する考えはあるのか伺います。

第2回定例会

・一般質問⑤

【質問】 平成30年度から国保制度が変わり、財政運営が道へと移ります。急激な税負担の増加を防ぐため、激変緩和措置をとることになっていますが、国保税率は上がらざるを得ない状況であり、特に中間層の税負担が増すことから、医療費負担の軽減措置として子育て医療費助成事業の高校生対象等も含めて、前向きに検討させていただきたいと考えています。

【答弁】(町長)

町はこれまで子育て応援という観点で、早い段階での中学卒業までの入院・通院の医療費無料化を実施してきました。保育料の一部助成、出産祝い金などにも取り組み、佐呂間は子育てしやすい町という声があるとも聞いています。子育て応援策である子ども医療費無料化の高校卒業までの拡大を願うものでありますが、考えをお伺いします。

【質問】 図書館に併設された児童館は築30年を超え、今は児童クラブの子供たちも利用し、建設当時とは大きくさま変わりしていると思います。駐車

【質問】

児童館・児童クラブを利用する子供たちのための図書館前駐車場の安全対策を含む施設の見直しについて

【質問】(町長) 児童館利用の行動類型や動線など、児童厚生員を含め確認を行い、かつ図書館利用者の利便性を考慮しながら、新たな駐車場整備に向け、前向きに検討を進めていきたいと思

【答弁】(町長)

場の危険性については平成26年6月定例で三田議員が質問し、施設のあり方についてもこれまで伺ってきたところではありますが、これまでの答弁はいずれも検討するという段階で終わっており、いまだに改善されずいます。子供たちの安全と生活遊びを通しての発達の場を保障するということからも、施設の見直しが必要な時に来ているのではないのでしょうか。これまでどのように検討されたか、また今後どう改善しようとしているのかお伺いします。

【質問】(町長) 高齢者にとって大きな負担となっていることは十分承知しています。除雪対策は、町、自治会単位のボランティア、社会福祉協議会事業の3体系があり、相互理解を図りながら、高齢者等が冬期間を安全で安心して生活できる地域づくりを進めています。

【答弁】(町長)

除雪は高齢者にとっては大きな負担となるものです。除雪を望む人、除雪できる人を登録し、1回の料金を設定したり、あるいは年間の回数を決めることで対応している町もあるそうです。このような方法なら町でもできるのではないのでしょうか。必要な人に必要なサービスを提供する、福祉路線にとられない除雪対策についてお伺いします。

第2回定例会

・一般質問④



三田 真美 議員

町民健康菜園について

【質問】

現在町民健康菜園は空いていて使用されているところが少なく感じています。現在は何%使用されているのか、今後の有効活用するための方策はどうか考えているのか伺います。

【答弁】(町長)

平成14年から定住促進団地整備に関わり購入した団地の有効活用として始まった町民健康菜園ですが、多い年で14区画、少ない時は9区画で、現在は11区画の61%であり本年度が極端に少ないとは感じていません。

西富勤労者団地は23区画のうち現在5区画がまだ残っているため、しばらくは町民菜

町民健康菜園の空き区画 今後の有効活用等は

町長：… 用地の有効活用として 現在も11区画が菜園利用中

園として利用していただきたいと考えています。

【質問】

現在の区画は意外と広く、若い世代の親子が食育のために少しの野菜を育てるためには、区画を小さくし借りやすいものにしたいと思

【質問】

また水道がなく不便なところもあり、マラソンの時の給水タンクなどの活用ができる

【質問】

歩道に設置してある線上型と点状型の誘導ブロックが

【質問】

視覚障がい者誘導ブロックについて

利用者が多い交差点は道道であり管理は北海道ですが、



但木 早苗 議員

子ども医療費無料化を高校卒業まで拡大することについて

子ども医療費の無料化

高校卒業まで拡大しては

町長：… 高校生対象を前向きに検討

い状況であり、特に中間層の税負担が増すことから、医療費負担の軽減措置として子育て医療費助成事業の高校生対象等も含めて、前向きに検討させていただきたいと考えています。

施設については、狭くてどうにもならないという話も聞いていませんし、活動状況を見た中で、児童クラブの役目を十分果たしていると考えています。

除雪対策について

【質問】

除雪は高齢者にとっては大きな負担となるものです。除雪を望む人、除雪できる人を登録し、1回の料金を設定したり、あるいは年間の回数を決めることで対応している町もあるそうです。このような方法なら町でもできるのではないのでしょうか。必要な人に必要なサービスを提供する、福祉路線にとられない除雪対策についてお伺いします。

【答弁】(町長)